

メディカルデータサイエンス・プロジェクトとは

臨床疫学・生物統計学・ゲノム統計学・医療情報学の融合研究(メディカルデータサイエンス)を推進し、我が国の臨床研究の遅れを取り戻し(右段上)、世界水準の研究拠点形成を目指した日本初のプロジェクトです。

超高齢化社会、国民皆保険制度や実臨床における高度検査機器の世界的導入率といった、わが国の保健医療・臨床情勢の特徴を最大限活用し、世界水準の臨床研究を日本から発信していきます。また、本プロジェクトでは臨床疫学・生物統計学・生物情報科学・ゲノム統計学・医療情報学の複数分野の知識・技術を有する人材育成にも重点をおきます。

昨年度、Top Journal や Core Clinical Journal を含む約 30 編の原著論文(査読付き)の論文支援を実施・受理を達成しました。本年度は更に多くの論文支援・共同研究を募集していきたいと存じます。

昨年度業績例 (査読付きのみ: 一部抜粋)

- Pre-hospital advanced airway management for adults with out-of-hospital cardiac arrest: nationwide cohort study. *BMJ* 2019;364:1430 詳細掲載(右段下)。
- Pre-treatment serum soluble interleukin-2 receptor level predicts survival in patients with newly diagnosed follicular lymphoma. *Leukemia and Lymphoma*: in press
- Trans-biobank analysis with 676,000 individuals elucidates the association of polygenic risk scores of complex traits with human lifespan. *Nat Med* 2020 26(4):542-548

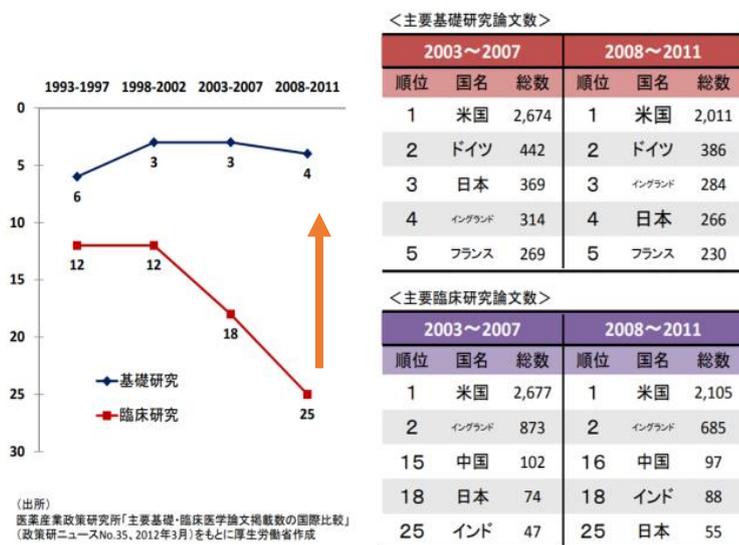
現在、**impact factor 10.0 以上の雑誌で、Under Review 多数!** 来月号より順次紹介していきます。

共同研究募集中!

メディカルデータサイエンス・プロジェクトでは、最新の生物統計・ゲノム統計の手法を臨床研究に応用させ、専門科を越えてクリニカル・クエスチョンの検討と論文執筆を支援します。

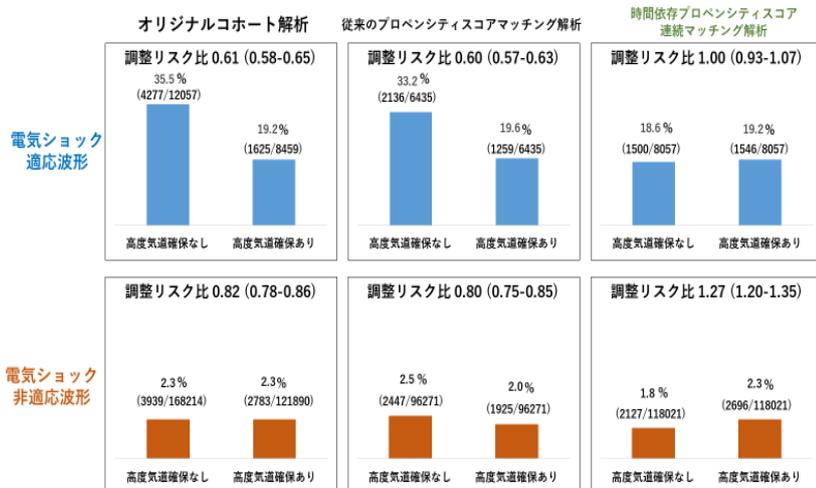
詳しくは HP: <http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/ace/>
 お問い合わせは: r.sakaniwa@pbhel.med.osaka-u.ac.jp (担当: 坂庭) まで
 内線番号: 3763

主要基礎・臨床医学論文数の日本の国際順位



(出所) 医薬産業政策研究所「主要基礎・臨床医学論文掲載数の国際比較」(政策研ニュースNo.35、2012年3月)をもとに厚生労働省作成

解析手法別の、救急隊による高度気道確保あり・なしの院外心停止後の1か月生存



観察研究下において、従来の解析では検証不可能とされてきたリスクの時間依存性変化によるアウトカムへの影響を、時間依存傾向スコア連続マッチング解析を用いる事で検証可能にしました。救急隊による高度気道確保の重要性が明らかに! *BMJ* 2019; 364:1430

